

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年2組 男子17名 女子16名 計33名
指導者 小田島 淳

1 単元名 わたしたちの体について調べよう 10月下旬 14時間(読む5 書く9)
(教材名 体を守る仕組み・これが、「わたし」です)

2 単元について

(1) 教材について

第3学年及び第4学年の「書くこと」における目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。

本教材は、教材文「体を守る仕組み」で段落相互の関係を考えながら内容を読み取った後、体の他の仕組みについても図書資料などで調べるとともに、必要な情報を収集・選択・整理し、それらを分かりやすく文章に書いていく教材である。

(2) 児童の実態

児童はこれまで、3年生の「ありの行列」で段落について知り、4年生の「ツバメが住む町」において段落と段落のつながりについて学んできている。また、「新聞記者になろう」や「グラフをもとに」では、相手意識を持って伝えたいことをはっきりさせて書くことを学習してきた。これらの学習を通して、自分が調べて分かったことを整理してまとめようとするができるようになってきた。

しかし、自分が伝えたいことを中心に文章を簡潔に書くことや、相手意識を元に、調べたことをわかりやすく書くことはまだ不十分である。一学期の国語科の意識調査では、書くことについては、個人差が大きく、何を書いていいのか悩み、書くことが苦手という児童が数名いる。また、序ずつの身だけになり、気づいたことや、自分の気持ちを書くことが苦手な児童もいる。さらに、文章の表記の仕方が不正確な児童も数名いる。

(3) 指導にあたって

本単元では、参考例を提示しながらわかりやすい文章はどう書くかを覚えさせたい。そして、百科事典から必要なことを見つける手順や、分からない語句を辞典で調べる手順を確認し、読む人に分かりやすい文章を書かせたい。

(4) 研究仮説との関わり

ア 教材の工夫

ワークシートを工夫し、自分の調べたいことを容易にメモしたり、構成したりできるように、必要な項目や注意点を取り入れたシートで学習活動を進める。

イ グループ学習、T・T指導

グループ学習やT・T指導を取り入れ、つまずきの見られる児童の支援にあたりるとともに、他の児童一人ひとりの書く力をより高める指導を工夫していく。

ウ 座席表、振り返りカードの活用

児童一人ひとりの調べたいことを確認し、児童の活動状況や、つまずきの有無を座席表に記入することにより、個々の児童について具体的指導の手助けとする。また、自分の学習状況を振

り返ることにより、自分のつまずきや成果を確認し、それを手がかりとして支援を行い、次の学習活動への意欲付けを図る。

3 単元の目標

自分たちの体について興味を持ち、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読むことができる。
体について疑問に思うことを、本を読んで調べることができる。
調べたり、考えたりしたことをまとめて、今の自分を記録することができる。

[国語への関心・意欲・態度] 体を守る仕組みに関心を持ち、自分の体と結びつけながら、知りたいことを調べて文章や図にまとめようとしている。

[書 く こ と] 調べたり考えたりしたことをまとめて、今の自分を記録することができる。

[読 む こ と] 体について調べ、段落と段落の関係に気をつけて考えながら読む力を身につけることができる。

[言 語 事 項] 段落相互の関係を示す接続語について理解し、使うことができる。

4 単元の評価規準

| | 概 ね 満 足 | |
|----------|---|--|
| 関心・意欲・態度 | 体を守る仕組みに関心を持ち、自分の体と結びつけて知りたいことを調べて文章や図にまとめようとしている。 | |
| 書 く こ と | 体を守る仕組みについて、事典などで調べて材料を集め、選択している。 書こうとすることについて、引用部分をはっきりさせて書いている。 | |
| 読 む こ と | 書かれている内容を正確に読み取るために、各段落の要点や、段落相互の関係をつかもうとしている。 筆者の思いに自分の体験を重ね合わせて読み、一人ひとりの感じ方の違いを知ろうとしている。 | |
| 言 語 事 項 | 段落相互の関係を示す接続語について理解し、使っている。 | |

5 指導計画（14時間）

| 次 | 時 | 目 標 | 評価規準 | 単元の評価規 準との関連 | 指導 体制 |
|---|--------------|--|---|-----------------|-----------|
| | | | 概ね満足 | | |
| 1 | 1 | 全文を読んで、内容のあらましと書き方の特徴をとらえることができる。 | 体を守る仕組みについて興味を持ち、調べたいことを中心に学習計画を立てている。 | 関 読 | 一斉 |
| 2 | 2 | 全文を大きく3つのまとまりに分けることができる。 | 接続語の働きに気をつけて、文章を3つのまとまりに分けている。 | 関 読 | 一斉 |
| | 3 | 説明1の内容を詳しく読み取ることができる。 | 微生物を体に入り込ませない仕組みについて正確に読み取っている。 | 読 言 | 一斉 |
| | 4 | 説明2の内容を詳しく読み取ることができる。 | 微生物が体に入ったときの仕組みについて正確に読み取っている。 | 読 言 | 一斉 |
| | 5 | 筆者の願いを読み取り、自分の考えを持つことができる。 | 筆者の思いに対して、自分の考えを持っている。 | 関 読 | 一斉 |
| 3 | 6 | 発表する相手を意識した分かりやすいまとめ方について考えることができる。 | 相手を意識した分かりやすいまとめ方について考えている。 | 関 | 一斉 |
| | 7 本時 8 | 図書資料を探し、必要な部分をメモすることができる。 | ・調べたいことに対して意欲を持って追求している。 ・必要とする資料を集めている。 ・集めた資料の中から自分の必要なことをメモしている。 | 関 書 | 一斉 |
| | 9 | 語句の意味を辞書で調べるなどして、自分が調べたことを分かりやすく書き直すことができる。 | 引用文を辞書で調べ、わかりやすい文に書き直している。 | 書 言 | T T 指導 |
| | 11 12 | 調べた資料をもとにして、体を守る仕組みを相手にわかりやすく伝えるよう文を見直し、図などを使ってまとめることができる。 | 調べたものから必要な資料を選び出し、相手にわかりやすく伝えるようにカードにまとめている。 | 書 言 | T T 指導 |
| 4 | 13 | 招待者を招いて、作品発表会をすることができる。 | 招待者に自分の作品を説明している。 | 関 | 一斉 |
| | 14 | 友達の作品を見て、感想を話し合うことができる。 | 感想交流をすることで自分の考えを深めている。 | 関 | 一斉 |

6 本時の指導

(1) 目標

図書資料を探し、必要な部分をメモすることができる。

(2) 具体の評価規準

| | 十分満足 | 概ね満足 | 努力を要する児童への支援 | 評価方法 |
|-----------------------|--|--------------------------------------|--|---------------------|
| 関 ・ 意 ・ 態 | 調べたいことに対して意欲を持って追求している。 必要とする資料を進んで集めている。 | 調べたいことに対して取り組んでいる。 必要とする資料を集めている。 | 調べる手順や見方を例示して、戸惑うことなく取り組めるようにする。 | 発表 観察 振り返りカード |
| 書 | 図書資料を探し、必要な部分をすべてメモすることができる。 | 図書資料から、自分が必要としている部分を見つけ、メモすることができる。 | 前もってどの資料があり、どんなことが書かれているか示し、必要としている図書資料を見つけられるようにする。 | ワークシート |

(3) 授業研究の視点

視点1...資料に書かれている内容が自分の調べたいことにあったものなのかどうか、資料から必要なことだけを取り出せるように、シールで印を付けるなどの作業を取り入れ、必要な事だけメモさせるように配慮したい。

視点2...自分が決めた調べたいことについて、資料からメモをとることが主だ学習活動となる。そのため、児童一人ひとりが、資料から自分の調べたいことを見つけられるように座席表を利用し、容易に調べ活動ができるようにさせたい。

(4) 展 開 (7 / 1 4 時間 一 斉)

| 段階 | 学習活動 | 支援・留意点 () と評価 () 個...個に応じた指導 |
|-----|---|--|
| つかむ | <p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>自分の調べたい体の仕組みを資料で調べよう。</p> </div> | <p>課題については、児童が調べられる範囲のものであるかを確認しておく。</p> <p>前時を振り返り、自分が決めた課題を確認するとともに、どんなことをメモすればいいのかを確認する。</p> |
| 深め | <p>2 どんな資料があるか、どのように調べるかを確認する。</p> <p>3 調べたことをメモするまでの手順を確認する。</p> <p>自分が調べる言葉のあるところを見つける。</p> <p>調べる言葉について説明しているところに印をはる。</p> <p>印を付けたところをシートにメモする。</p> <p>4 書かれている内容から自分が必要としている部分を見つける方法を考える。</p> <p>5 資料を使って自分の調べたいことをメモする。</p> <p>6 メモした内容を発表し合う。</p> | <p>資料の種類だけでなく、時点などはその引き方を確認し、容易に調べたいことを見つけられるようにする。</p> <p>事典などの引き方を確認できたか。(発表)</p> <p>自分が調べようとしている言葉を見つけ、必要な部分にだけシールで印を付けてメモすることを確認する。</p> <p>提示した資料の中から働きについて書いているところを見つけさせ、発表させながら手順を確認する。</p> <p>資料は前もって個人の調べたいことに必要な分だけ準備しておき、不足しないようにする。</p> <p>作業の進度に応じて、後れている子には手伝っていいこと年、グループ内で協力して活動させる。</p> <p>個...事典などは引き方で戸惑っていることもあるので、児童の様子を見て適宜指導する。</p> <p>個...実ようなところを見つけられずにいる場合は、どの部分に働きが書いてあるかを示し、メモできるようにする。</p> <p>個...保険の先生にも協力してもらい、お助けコーナーを設け、用語など難解な部分は聞いてもいいことにする。</p> <p>自分が調べたいことをメモできたか。</p> <p>発表の中から、気づいたことやよい点などについても意見を出させ次時の活動の参考にさせる。</p> |
| まとめ | <p>5 本時の学習内容を振り返る。</p> | <p>学習課題に照らし合わせ、必要なことがメモできたかどうかを記入させ、発表で確認する。</p> <p>自分のメモを見て、課題に沿った学習ができたかを記入できたか。(ワークシート)</p> |